

## Ver0.99d新機能の紹介

### 1. プログラム一覧での一括更新機能

プログラム一覧画面に「一括更新」ボタンを付けることにより、「プログラム一括読み込み」を実行しなくても同期処理を実行できるようになりました。ソースファイルの更新監視機能により新しいプログラムソースの更新を検出したときは、その最新のプログラムで画面上部の表示を更新するようにしました。一括更新により、同期したときは「一括更新」ボタンを無効化するようにしました。これにより不一致の有無を容易に確認できるようになりました。

No	名称	フォルダ	公開名	外部	更新日付	時刻	id	CR
1	メインプログラム				2019/12/10	14:14:06	1	
2	Rich Client - CapitalsCities	Admin			2019/12/20	16:16:35	2	
3	City1	Admin			2019/12/20	17:23:36	3	
4	City2	Admin			2019/12/23	13:38:38	4	
5	City8	Admin			2021/10/27	16:59:51	10	
6	StartProgram	Main			2021/10/21	15:45:48	5	
7	Login	Main			2019/12/19	17:00:27	6	
8	Welcome	Main			2019/12/19	17:33:24	7	
9	Logout	Main			2019/12/20	10:11:26	8	
10	Import - CapitalCities	Batch			2019/10/18	17:42:38	9	

①解析DBをSQL系のDBMSで指定している場合「一括更新」ボタンを表示します。

②更新時刻と解析処理時に取得した更新時刻に差異があるプログラムが存在する場合、ボタンを有効化します。(プログラム番号、名称、更新時刻を上部に表示します)

③「一括更新」ボタンを押すと解析処理を実行し全プログラムを一括で同期します。(終了時、ボタンを無効化)

※環境設定で、「ソースファイルの更新を監視」にチェックが入っ

### 2. フォーム/コントロール「特性」表示のRIA、WebClient対応

従来は「オンライン」タスクのみでしたが、解析DBにSQL Serverを指定している場合は、「リッチクライアント」「WebClient」タスクでも表示できるようになりました。(解析DBに「SQL Server」を指定している場合に限りです。クエリにxmlデータ型のメソッドを使用しているため) また「特性表示」画面にソース確認のためのボタンを付加しました。

No	名称	値	式	Q X
1	名称	Table1		
2	コントロール名	Table1		
3	タグ名	[?]		
4	X	12		
5	Y	10		
6	幅	532		
7	高さ	392		
8	コントロール	0		
9	タグ	0		
10	タグ属性	Yes		
11	タグ属性のつまみ	毎分		
12	タグ属性	許可可能な項目		
13	タグ属性	No		
14	可換	Yes		
15	タグ属性	18		
16	タグ属性	23		
17	タグ属性	2		

機能が有効な場合は、コンテキストメニューに「特性」が表示されます。選択することにより、特

「ソース確認」ボタンによりプロパティ要素の内容(XML)を確認することができるようになりました。「ソース確認(モデル)」ボタンはモデルを使用している場合に有効になります。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<Control_base id="1" id="1">
  <PropertyList model="CTRL_WEB_CLIENT_TABLE">
    <X id="21" val="12" />
    <Y id="22" val="10" />
    <Width id="23" val="532" />
    <Height id="24" val="392" />
    <ControlName id="40" val="Table1" />
    <Scrollbar id="77" val="Y" />
    <TitleHeight id="79" val="18" />
    <ShowHeight id="80" val="23" />
    <Elements id="81" val="2" />
    <WindowWidth id="241" val="532" />
    <ScrollbarThumb id="700" val="1" />
    <WebStyle id="704" val="1" />
    <ServerResourceId id="736" />
  </PropertyList>
</Control>
  
```

### 3. ルーティング情報プログラムの改善

#### ①「ルーティング情報」画面

画面レイアウトを変更し、従来、画面下部にあった「全フォーム」は新しく設置した「全フォーム」ボタンを押したときに表示するようにしました。  
 (画面下部のサブフォームはルート定義してあるプログラムのフォームのみを表示します)  
 ルート定義明細に条件式、フォルダ、更新時刻等のカラムを追加しました。

全フォーム

全フォームを表示するにはこのボタンを押します。

条件式、フォルダ、最終更新時刻のカラムを追加しました。

カーソル行にあるプログラムのフォームを表示します。

行#	コード名	番号	コール先名	ルート名	出力先	式#	条件	フォルダ	最終更新時刻
4	P=ア	7	Login	Login				Main	2019/12/19 17:00
5	P=ア	8	Welcome	Welcome				Main	2019/12/19 17:33
6	P=ア	9	Logout	Logout				Main	2019/12/20 10:11
7	P=ア	3	City1	City1				Admin	2019/12/20 17:23
8	P=ア	4	City2	City2				Admin	2019/12/23 13:38
9	P=ア	5	City3	City3				Admin	2021/10/27 16:59

P#	プログラム名	ループ	ループ名	F#	フォルダ	ユニット/タイプ	テンプレート/Webリソース	処理
7	Login			2	Login	D=デフォルト		

#### ②「全フォーム」画面

独立した画面に移行しました。起動するには「ルーティング情報」画面から「全フォーム」ボタンを押します。  
 従来の画面には無かった「ルートコール」「フォルダ」「最終更新時刻」「処理」のカラムを追加しています。

ルートコール	スタートアッププログラムのイベント「ルート」に登録しているプログラムにチェックが付き、スタートアッププログラム自体やサブタスクのフォームには表示しません。
フォルダ	そのプログラムのフォルダを表示します。
最終更新時刻	プログラム、タスクの最終更新時刻を表示します。
処理	出力したAngularソースに対する処理を指示することが可能です。現時点では、Webスタイルが「繰り返し可能な項目」に設定されたテーブルが定義されているフォームに対して表示します。(サンプルプログラムとして実行が可能)

ルートコール: ルートからコールしている時、  
 フォルダ: プログラムのフォルダを表示します。

最終更新時刻: プログラム、タスクの更新時刻を表示します。

出力されたAngularソースに対する処理を指示します。チェックボックスは実行済かどうかを表示しています。

P#	プログラム名	ルートコール	フォルダ	ループ#	ループ名	最終更新時刻	F#	フォルダ	ユニット/タイプ	テンプレート/Webリソース	処理
3	City1	<input checked="" type="checkbox"/>	Admin			2019/12/20 17:23	2	City1	D=デフォルト	W=マカ列挙型コントロール	
4	City2	<input checked="" type="checkbox"/>	Admin			2019/12/23 13:38	2	City2	D=デフォルト	H=HTMLテンプレート	
6	StartProgram	<input checked="" type="checkbox"/>	Main			2021/10/21 15:45	2	StartProgram	D=デフォルト		
7	Login	<input checked="" type="checkbox"/>	Main			2019/12/19 17:00	2	Login	D=デフォルト		
8	Welcome	<input checked="" type="checkbox"/>	Main			2019/12/19 17:33	2	Welcome	D=デフォルト		
9	Logout	<input checked="" type="checkbox"/>	Main			2019/12/20 10:11	2	Logout	D=デフォルト		
5	City3	<input checked="" type="checkbox"/>	Admin			2021/10/21 15:45	2	City3	D=デフォルト	R=繰り返し可能な項目	<input checked="" type="checkbox"/> 変換

### ③「テンプレートの変換」画面

処理カラムの「変換」ボタンを押すと「テンプレートの変換」プログラムを起動します。  
予め定義した変換ルールを選択することにより、目的に合わせたWebデザインに簡単に書き換えることが可能で、AngularでのWeb開発業務を支援します。  
現時点では、評価用のサンプルプログラムとして提供しています。  
詳細については、添付rの別ドキュメント「WebClient開発支援機能について」を参照してください。

